【A-1：駅前に再び活気を】

[南富山駅改修]

駅を改修すると同時に駅前も整備し、イベントスペースやストリートミュージアムを設置する。朝市やイベントを行い、さまざまな交流が生まれ、駅前がにぎやかになり、地域の活性化を促していく。

【C：ポケットパークの設置】

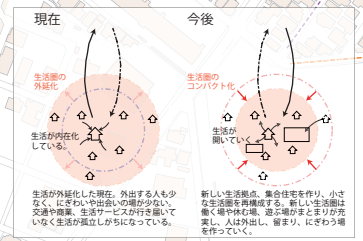
[気軽に立ち寄れる憩いの場]

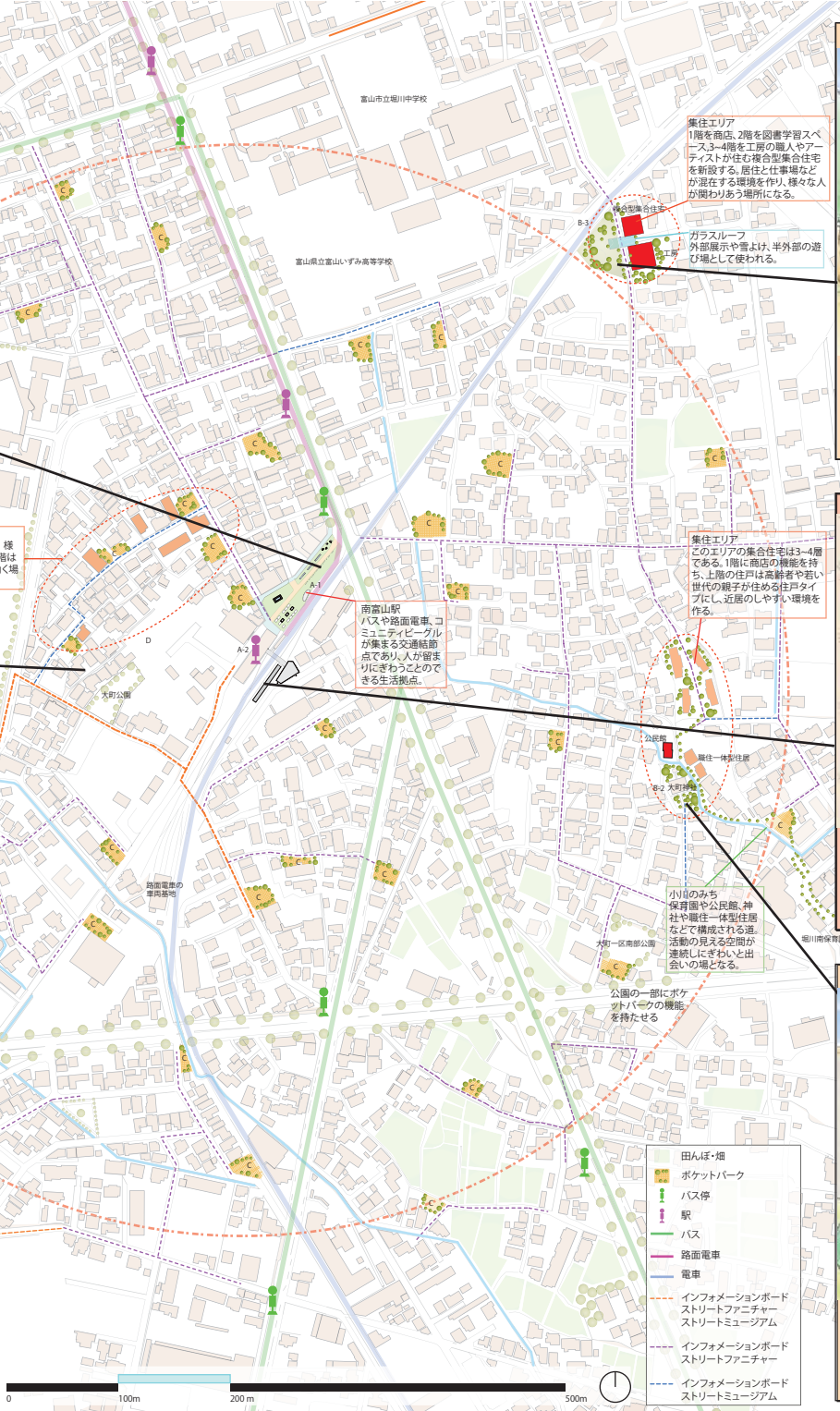
計画敷地内に約 30 箇所のポケットパーク点在させることで、外出した際に休憩をしたり、定期的に朝市などを行える場を作る。コミュニティビーグルの停留所も兼ねており、交流や出会いのきっかけになる。

【B-1：地域交流生活拠点・集住エリアの設立】

[福祉から広がる支え合いの場]

既存の老人福祉センターの一階を増改築し、商店やレクリエーションスペースを作る。また外部では市場や公園、川との親水空間など誰もが使うオープンな場を作る。普段から使うことで支え合える環境を作っていく。





【B-2：地域交流生活拠点・集住エリアの設立】

[美術、図書、運動が混在する学びの場]

ガラス工房を設け、展示や見学、体験などができるガラス拠点を作る。工房、学習室、公園を計画し様々な活動が混ざり合う場所にしていく。多世代の交流する機会を増やし、みんなの学びの場を作っていく。

【A-2：駅前に再び活気を】

[ライブラリー]

駅に新たにライブラリーを設置する。電車やバスの待ち時間に利用したり、学生は下校途中に自習や読書などができる。家から出ない高齢者も外出を促し、他世代の人たちと交流していく。

【B-3：地域交流生活拠点・集住エリアの設立】

[公民館や神社が中心となるにぎわいの場]

神社や小川など豊かな環境を中心に人の集まる場を作っていく。小川と接する道を作り、保育園へと繋がっていく。普段は子供が安心して遊べる環境を作り、餅つきや祭りの時にはにぎわいの場となる。